

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…  
「はっち」が贈る、おいしい情報。

まちぐみ・酔っ払いに愛を2015  
八戸のまちなかを楽しもう

八戸の縄文  
今年は縄文を楽しもう

東北スタンダード・はっち特派員だより  
東北の新たな暮らしと伝統を見つめ直す

## hacchi event program イベント情報

■<sup>たびと みかど</sup>花の旅人・美門伸也  
写真と短歌でつづる花の絵はがき展

8月7日(金)～9日(日) 9:00～17:00  
問合せ：美門 090-5203-7039

■てぬコレ 88 ワンダーマーケット

8月8日(土)～9日(日) 10:00～19:00  
クリエイターのデザインしたてぬぐいの展示販売。  
問合せ：tenukore.hachinohe@gmail.com

\*■戦後70年～私の戦争体験 映像上映～

8月13日(木)～16日(日) 9:00～21:00  
市内在住の石橋力ネさん、山根勢五さん、西久保秀雄さんの  
戦時体験インタビュー作品を上映。

\*■はっちのお化け屋敷「メドツ伝説～第二章～」

8月13日(木)～16日(日)  
①13:00～15:00 ②15:30～17:30 ※入場料：100円

■坂本英子作品展「デイトリップー」

8月20日(木)～23日(日) 9:00～18:00  
アクリル絵画作品等の展示。  
問合せ：坂本 info@net-de-lapinagile.com

\*■はっち5周年スペシャル企画  
美人塾 in はっち

8月22日(土)～23日(日)

22日には、日本初の女性専門外来を立ち上げた八戸大使の  
対馬ルリ子さんと、日本初の子育て集いの広場を立ち上げた八  
戸大使・奥山千鶴子さんほか、“初めて”を極めた女性たちによ  
るサミット&分科会や交流会、23日には貸切りバスによる八戸  
満喫ツアー(お土産付)を楽しめるスペシャルな2日間。  
料金：15,000円(22日交流会費・23日昼食代含む)  
定員：先着24名 ※宿泊は各自手配・自己負担

■メゾン ド ファンファレ  
■maison de fanfare 写真と服の展示会

9月20日(日)～23日(水・祝)  
10:00～19:00 ※最終日18:00まで  
問合せ：中村 maisondefanfare@gmail.com

■第4回名久井農業ファーマーズマーケットinはっち

9月27日(日) 10:00～15:00  
問合せ：青森県立名久井農業高等学校(木村) 0178-76-2215

\*■酔っ払いに愛を2015～横丁オンリーユーシアター～

10月9日(金)～11日(日) 18:00～21:00

■<sup>とつきとおか</sup>山本まゆみ 色えんぴつ画展 [十月十日]

10月9日(金)～12日(月・祝)

9:00～21:00 ※最終日17:00まで  
新作色えんぴつ画やオリジナルキャラクター、エッセイ、入選  
作品などの展示。  
問合せ：山本 0178-79-4513

\*■はっちの一箱古本市

10月24日(土) 10:30～16:00

1日限りの古本屋さんがはっちに大集合！  
※9月12日(土)には、デーリー東北新聞社とはっちにて、  
知的書評合戦「第2回ビブリオバトルin八戸」予選会を開催。

\*■和日カフェ ～日本文化に親しむ日～

8月16日(日)・9月20日(日)・10月18日(日)  
いけばな体験、お茶席など。

\*■ストリート投げ銭ライブinはっち

8月19日(水)  
9月9日(水)・23日(水・祝)  
10月14日(水)・28日(水)  
開演 19:00

\*が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

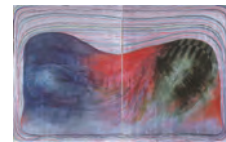
## information 市内施設情報

八戸市美術館

■特別展  
「豊島弘尚展 ～極北の美を求めて～」

I部 9月19日(土)～10月12日(月・祝)  
II部 10月17日(土)～11月8日(日)

故郷八戸の風土や己の血脈を  
ベースに北欧神話やオーロラ、  
宇宙をテーマとした壮大な作品  
を発表し続けてきた豊島弘尚氏  
の画業を振り返る特別展。



豊島弘尚  
「空に播く種子(父の星冠)」

🕒 9:00～17:00 (受付は16:30まで)  
🗓 9月24日・28日・10月13～16日・19日・26日  
☎ 0178-45-8338  
📍 http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/

八戸市博物館

■特別展  
「八戸フード記 一自然・人・食一」

10月3日(土)～11月15日(日)

郷土食とは、その土地の風土を表す  
ものでした。食材を獲得し、加工調  
理して食べるという一連の流れを通  
して、豊かな食の民俗と地域の特徴  
を紹介します。(10月17日・31日に  
講演会あり)



くろ  
「睦の昼飯」  
和井田登氏寄贈写真

🕒 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
🗓 10月13日・19日・26日・11月4日・9日  
☎ 0178-44-8111  
📍 http://www.hachinohe.ed.jp/haku/

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■特別展  
「漆と縄文人」

7月25日(土)～9月6日(日)

漆の利用は、今から9,000年前の縄文時  
代早期に始まっていました。  
各地で発掘された縄文時代の漆塗りの  
至宝を、技術や文化とともに紹介します。  
(8月29日に考古学講座あり)



写真：福井県鳥浜貝塚出土「桶形容器」  
縄文時代前期 重要文化財

🕒 9:00～17:00 (受付は16:30まで)  
🗓 7月27日・8月10日・17日・24日・31日  
☎ 0178-38-9511  
📍 http://www.korekawa-jomon.jp/

## hacchi news はっちニュース

かっちゃん人形とうみねこ人形を設置しました

平成27年3月31日より、八戸市内在住の人形作家・松倉久美子さんが制作  
したかっちゃん人形とうみねこ人形を、1階インフォメーションに展示しています。  
名前は国内外からの100件以上の応募の中から、かっちゃん人形は「八戸八海」  
(愛称：八海ちゃん)、うみねこ人形は「八丸」に決まりました。はっちの新しい  
仲間としてみなさまのご来館をお待ちしています。

〈はっち情報発信中!!〉

📘 https://www.facebook.com/hacchi8

🐦 https://twitter.com/hacchi\_staff

📱 iPhone 無料アプリ  
i8nohe(あい・はちのへ)

その他、各社新聞、コミュニティラジオ BeFM でも情報発信中です。



## street event まちなか情報

■戦後70年特別企画「八戸 戦後の写真展」

八戸の戦後を、昭和期の写真で振り返る展覧会。

第1展示は中心街協力店のウィンドーに、各店舗周  
辺の昭和期の街並み写真を展示(総数約250点)。  
街かどミュージアムでの第2展示では、昭和30年  
代の八戸の日常風景を展示します。



八戸市博物館蔵

🗓 第1展示 … 八戸中心街協力店  
第2展示 … 八戸クリニック街かどミュージアム 八戸市柏崎1丁目8-29  
🗓 2015年7月11日(土)～9月6日(日)  
第2展示 … 10:00～17:00 月・火・休館 ☎ 0178-32-7737  
🗓 第2展示のみ … 一般500円 高校生200円、中学生以下無料

【交通のご案内】

バ ス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]  
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ  
Ｊ Ｒ／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約10分]  
航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス[約55分]  
フェリー／八戸港フェリーターミナルから車[約15分]  
車／八戸駅から車[約20分]  
※一般来館者の駐車場はございません。  
お近くの有料駐車場をご利用ください。





八戸市中心街

## まちぐみ



みんなで八戸のまちを元気に。

まちを楽しく元気にする集団

『まちぐみ』は、八戸のまちを元気にする市民の集団。  
『組長』であるアーティストの山本耕一郎さんのもと、  
思いがけないアイデアでまちをちよつとずつ楽しくする  
プロジェクトを進めています。  
この6月からは十八日町に活動拠点を手にし、新たな  
スタートを切ったところです。  
まちぐみメンバーは現在120人以上。市内から県  
外まで、たくさんの方が参加しています。あなたも一  
緒に八戸のまちを面白くしませんか？

6月には拠点をみんなで大掃除&リフォームしました。元家具職人など、強力なメンバーも参加して作業は順調。7月末には新たな姿でオープン予定です。



まちなかのリノベーションも進行中。  
写真ははっち向かい「みな実」。  
車の荷台をディスプレイ台にしました。



拠点は十八日町の元お茶屋さん。  
ここが新しく生まれ変わります。



まちぐみウェブサイト  
<http://machigumi.main.jp/>

『入りづらい店マップ』など、  
『まちぐみの「これ、やりたい」  
シリーズ』も続々立案。



### まちぐみの参加資格！

1. 八戸が好きなら誰でもOK！
2. 写真顔出しOKであること
3. 参加料はTシャツ代1,000円

※参加希望の方ははっちまでご連絡ください

## 八戸中心街 横丁



酔っ払いに愛を2015  
横丁オンリーユーシアター

涼しくなった秋の夜長もぜひ横丁へ。  
10月9日(金)～11日(日)に、横丁の  
飲食店や路地そのものを舞台に、さまざ  
まなパフォーマンスを披露する「酔っ払  
いに愛を2015」横丁オンリーユーシ  
アター」が開催されます。  
ダンスやトークなど、横丁の夜を味わ  
いやすく3日間をお楽しみください。  
お酒を片手に、八戸の横丁ならではの  
アートの魅力をハシゴしてみませんか。



※写真は昨年度開催時のもの



【期間】平成27年10月9日(金)～11日(日)

【会場】八戸市中心街・横丁

【出演予定】未来.Co、ウマジン、チェ・ジェチョル、十日市秀悦、江戸八 艶椿  
ノイズ中村、アレルゲンシアター、Emel Oriental Dance、かえるP  
大庭れいじカンパニー、金子愛帆・矢吹唯、古屋正成、松原夢路  
シロクマボーダーライン、Misawa International Traverling Show

【チケット】1つづり1,000円(回数券状になっています)

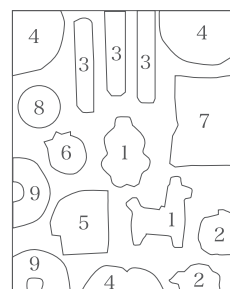
※はっちインフォメーションにて9月10日(木)から販売！

路地裏には八戸の夜の顔がある



グルメも人情もある横丁

うだるように暑い夏の夜、吸い寄せられ  
るように向かうは路地裏。  
八戸市中心街の表通りから一歩足を踏み  
入れると、提灯やネオン看板の照明がまぶ  
しい横丁の物語の中へ迷い込む。  
八戸の名物グルメや地酒はもちろん、心  
温まる人とのふれあいに食の魅力・人の魅  
力を再発見できる横丁。  
きつとお気に入りの横丁、お店が見つかる  
ことでしょう。  
今宵もおいしい八戸の夜を――。



1. 合掌土偶ワッフル・八幡馬ワッフル … みな実(三日町)
2. 八戸うみねこバクダン … 街カフェみなと(三日町)
3. スティックチーズケーキ(八戸桑茶・レクラーク・ブルーベリー) … お菓子の家 リーベシムラ(鍛冶町)
4. 南部せんべい(ごま・えび・ぬりごま) … 上館せんべい店(頼家縄手下)
5. えんぶりの里 … 城屋菓子店(荒町)
6. メドツ … 戸田菓子舗(吹上) ※メドツとは八戸弁でカッパのこと
7. あんこあねつこ … お菓子処丸美屋(小中野)
8. マカロン(フランボワーズショコラ) … マノド(十六日町)
9. 南部ドーナツ(八戸こまつな・バターナッツカボチャ) … ベリイベリープラス(三日町)

ジョーモン？

# 八戸の縄文

今年の八戸は「縄文<sup>じようもん</sup>」がキーワード。

八戸の縄文文化に関連したプログラムが開催されます。

そんなタイミングに合わせ、今回は縄文特集。

「ジョーモンってなんですか？」という方のために、

縄文に関連したさまざまなトピックを集めました！

縄文文化に大注目ですよつ。

「縄文」ってどんな文化ですか？

約 15,000 年前から約 2,300 年前まで、  
12,000 年ものあいだ続きました。

土器をつくり、定住し、多様な食料を  
選択する生存戦略を持っていました。

縄文土器は北海道から沖縄まで見つかっ  
ており、日本列島全域に広がっていました。

土器につけられた縄の模様から  
「縄文」という名前がつけられました。  
土器には縄以外にもさまざまな模様があります。

八戸の縄文は何がすごいの？

八戸市内には現在 489 か所の  
遺跡があり、その 9 割に縄文  
時代の生活の痕跡が含まれま  
す。八戸には、縄文時代の 2 つ  
の国史跡があり、5 つしかない  
国宝土器の一つである国宝の合掌  
土偶（風張 1 遺跡や、是川遺跡・

風張 1 遺跡の出土品 626 点  
が重要文化財に指定されていま  
す。  
東北地方の歴史を考える上で  
欠かせないのが八戸の縄文遺跡  
なのです。



左上：合掌土偶 出土風景（風張 1 遺跡）  
左下：遺跡発掘風景（風張 1 遺跡）



右上：深鉢形土器（縄文時代後期）  
新井田古館遺跡  
右中：爪形文土器（縄文時代草創期）  
牛ヶ沢（4）遺跡  
右下：鉢形木胎漆器（縄文時代晩期）  
是川中居遺跡

映画

出演者：鈴木杏樹 宇梶剛士  
武田梨奈 藤田弓子  
ほか  
監督：黒川浩行  
原作：森沢明夫  
公開：2015 年初夏  
（現在公開中）  
ロケ地：是川縄文館、陸奥湊  
駅前朝市、横丁など  
公式ホームページ  
<http://raianoinori.com>



縄文と現代、八戸が舞台の物語

今年の初夏、八戸市が舞台の  
映画「ライアの祈り」が公開され  
ました。  
過去に傷をもち、人生に臆病  
になっていた主人公・桃子  
（鈴木杏樹）が、不器用な研究者・  
クマゴロウ（宇梶剛士）と出会  
い、八戸の縄文文化にふれるこ  
とで人生を前向きに生きるきつ  
かけをつかんでいく大人のラブ  
ストーリー。物語のキーとなる  
のは、国宝・合掌土偶、桃子と  
クマゴロウが合掌土偶と対峙す  
る場面は、劇中で最も印象的な  
シーンとなっています。  
豊かで幸せに満ちた縄文時代  
が、現代の登場人物たちの心を  
動かしていく様子を描いた本作  
は、縄文ファンはもちろん、八  
戸市や縄文のことを知らない人  
の心にも感動を響かせる素敵  
な作品です。



※掲載している土偶はすべては川縄文館所蔵。また、全てが常設展示されてはおりません。

「土偶」ってどんなもの？

土偶は文字どおり粘土で作られた人形の造形物です。

やわらかな曲線や豊かな体つきは女性をかたどったもので、子孫繁  
栄を願って作られたと考えられています。土器と同様に時代や地域ご  
とにさまざまな形があります。

このページに掲載している土偶は八戸市内で出土したものです。  
あなたのお気に入りほどの土偶？

縄文をおみやげでも楽しむ！

是川縄文館のミュージアム  
ショップには縄文関連のおみ  
やげがいっぱい。ちょっとユ  
ニークなプレゼントにもオス  
スメですよ！  
（はっちのカネイリミュージア  
ムショップなどでも縄文関連  
のお土産を扱っています。）



## 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

これかわじようもんかん

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は、八戸市内か  
ら出土した遺物を保存・活用する施設で、縄文時代の遺  
物も多数保存されています。

「縄文の美」「縄文の謎」などテーマごとの常設展示や  
土偶作りなどの体験学習などを通して、縄文の魅力をより  
身近に感じることができます。また、縄文がテーマの  
「これカフェ」や縄文関係の本を集めた図書室も併設し、  
まるごと縄文を楽しむおススメスポットです。国宝の  
合掌土偶にはここで会えますよ！

※本紙の最終面に施設情報、特別展情報を掲載。



上 2 枚 展示風景  
3 番目 復元した竪穴住居  
4 番目 土器作り体験



みんなが作ったオリジナル土偶の数々。  
8 月のキャンプで野焼きします。



衣装もオリジナルのものをつくります。絵の具で描いたり  
草木染めしたり…。初めての体験にみんなワクワクです。



初回は縄文館の見学。解説付きの展示  
ツアーや竪穴住居に大興奮。



約 30 名の探検隊隊員は、子どもたちたくさん。  
大人も子どもも一緒に楽しんでいます。

今回のご縁で八戸に来て、  
はっちとこのまちが大好き  
になりました！ たくさん  
の人とお話しできたらいい  
なと思っています！



YORIKO (ヨリコ)  
東京を拠点にグラ  
フィックデザインや空  
間演出の仕事をしなが  
ら、まちの方々と共同で行うアートプ  
ロジェクトの活動を行っています。  
<http://newmor.net/>

## 八戸ロマン 時空探検隊

HACHINOHE ROMAN TIME TRAVELLERS

「八戸ロマン時空探検隊」はコミュ  
ニケーション作家の YORIKO さ  
んによる、アートな切り口から縄文  
を楽しむプロジェクト。市内から集  
まった約 30 名の隊員と、土偶やミニ  
竪穴式住居の制作、キャンプなどを  
通して、縄文人のような気分と思  
いっきり楽しみます。  
プロジェクトは 8 月中旬まで続  
きます。活動はウェブサイトでもレポ  
ーします。お楽しみに。

八戸ロマン時空探検隊ウェブサイト  
<http://hachinohe-roman.com/>

アートで楽しむ縄文文化

アートを通して浮かび上がる  
南郷の自然と人の魅力



八戸市南部に位置する南郷地区。自然と伝統豊かなこの地域を舞台とした「南郷アートプロジェクト」が、今年で5年目を迎えます。

今年も「南郷Recollection」という昨年に続くテーマを掲げ、小学校での映画製作やアートのエッセンスを加えた南郷の旅など、この土地を見つめ直し、その魅力を「もう一度コレクションする」プログラムとなっています。

また、毎年恒例となったダンス公演「DANCE×JAZZ」は、全国的に活躍するダンサーと地元ジャズミュージシャンの共演が見物。今年も南郷アートに注目です。



南郷アートプロジェクト 2015 ウェブサイト  
<http://nangoartproject.jp/2015/>

### なんごうあーとりっぷ

バスにゆられてプチトリップ。ひまわりや蕎麦の花の「夏色」で彩られる南郷を巡るアートツアー。パフォーマンスを見たり、染色をしたり、南郷を楽しめます。

【期間】とりっぷ01…8月23日(日)午後／とりっぷ02…8月30日(日)午後

【場所】山の楽校 ほか

### DANCE × JAZZ vol.5

「ジャズの里、南郷」で挑む、ジャズ×ダンスの新作ダンス公演第5弾。

【日時】12月5日(土) 19:00 開演・12月6日(日) 14:00 開演

【会場】八戸市南郷文化ホール

【アーティスト】プロジェクト大山・セレノグラフィカ・増田ダンスアカデミー ほか

### 映画つくろう！3 市野沢小学校プロジェクト HOMESONG

南郷の小学校を舞台とした、子どもと大人とアーティストによる映画製作。

【上映会】2016年1月(予定) 【撮影場所】八戸市立市野沢小学校 ほか

【アーティスト】田畑真希(ダンサー)・飯名尚人(映画監督) ほか

### バー bar スマモリ

毎回違うマスターがおもてなし。新たな出会いを生み出す集いの場。

【期間】通年(不定期開催) 【会場】山本さんち ほか

【アーティスト】山本耕一郎

■お問い合わせ 八戸市南郷文化ホール ☎ 0178-60-8080

はっち  
特派員  
だより  
～No.1～

## おらほの山車ば、見でけんだ

～市民が作る八戸三社大祭～



六日町附祭若者連(むいかまちつけまつりわかれん) 製作途中の大きな鬼の腕に魅入るはっち特派員

今年の六日町の題材は、迫力ある大きな鬼の腕にこだわった「桃太郎の鬼退治」。鬼の腕は5mもの長い竹を六日町自慢の技術で曲げながら制作しています。山車の全体デザイン画である「山車絵」は描かず、各制作担当者が長年の阿吽の呼吸で作り上げていきます。

鍛冶町の題材は、「大物浦 怪士知盛」。源義経を海に沈めようとしている平知盛の亡霊を、弁慶の祈禱で鎮めている場面です。今年は山車の下台を作り変え軽量化しましたが、

どこからともなくお囃子が聞こえてくる季節になりましたね。

市内に全27組ある山車組の人々は、毎7月31日から8月4日まで開催される八戸三社大祭に向けて夜遅くまで山車を作っています。

私たちは「はっち特派員」は、昔ながらの制作手法による山車作りを守り続ける六日町と、物語を大切にしたい大きく豪華な山車が特徴の鍛冶町、対照的な2つの山車組取材しました。



八戸三社大祭での山車の展示風景。子どもたちが山車を引く姿は八戸の夏の風物詩です。

江戸時代から約290年続く八戸地方最大の祭り。3つの神社の神輿行列と、市民が作る巨大で豪華絢爛な27台もの山車が見もの。平成16年2月に重要無形民俗文化財に指定。

### 八戸三社大祭

前よりも大きな山車に見えるように遠近法を用いたカラクリや仕掛けが見所です。制作責任者が描いた山車絵をもとに、役割分担をして制作に臨みます。

私たちは山車作りやお囃子など山車組の人々取材して、八戸三社大祭が始まるまでの過程を、ブログ記事やはっちでのパネル展で紹介しています。お祭りの内側を知ることができる内容となっていますのでぜひご覧ください。



鍛冶町附祭若者連(かじちょうつけまつりわかれん) 山車製作責任者 下崎雅之

### はっち特派員 八戸三社大祭パネル展

7月29日(水)～8月5日(水)  
9:00～21:00 ※最終日 18:00まで  
3階 ギャラリー3

はっち特派員って  
どんな人たち？

市民ボランティアによる「はっち特派員」が、「リアルタイムな八戸」「旬な八戸」など、まちの地域情報の撮影や取材・情報発信を市民目線で行っています。

はっち特派員ブログ <http://tokuhainn8.exblog.jp/>

## new topic

赤ちゃんスペースがさらに充実！

木育広場は、ハイハイやつたい歩きの赤ちゃんが大人に見守られながら安全に遊べる空間です。



赤ちゃんコーナーが広くなり、さらに安心して遊べるようになりました！



なつかしいおもちゃたち。  
おじいちゃん、おばあちゃんは大得意？



## こどもはっち

kodomo hacchi

※親子の触れ合い空間※

明るい日差しが降り注ぐ場内は、県産材を使用したぬくもりあふれる空間。遊具やおもちゃは世界中から厳選されたものばかりです。

こどもやパパ・ママが楽しいのはもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんも懐かしいおもちゃとの出会いに心がほっこりすることでしょう。ぜひご家族で遊びに来てください。

### 【9月～10月のイベント情報】

#### 9月13日(日) おさがり掘り出し市

時間 10:30～13:00  
場所 1階 はっちひろば

#### 9月22日(火・祝) 人形劇 「タマゴ」・「あやとじるきちのおおかみ」

開場 12:45～  
時間 13:00～14:20  
場所 八戸市南郷文化ホール

#### 10月18日(日) 着物ファッションショー

時間 11:00～12:00  
場所 1階 はっちひろば

#### 10月25日(日) こどもはっちハロウィン

時間 10:30～11:30  
場所 4階 こどもはっち

◎ 9:30～16:30 (1月2日・3日は10:00～16:30)

☎ 毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)

年末年始 12月29日～1月1日

¥ 100円 (未就学児は無料)

☎ 0178-22-5822

📍 <http://www.kodomohacchi.com>

※土日祝日などの混雑時には、入場制限(1時間での入れ替え)をさせていただく場合があります。

八戸発、東北のいいもの、おいてます。

## 東北STANDARD



東北の工夫や知恵、暮らし方を新たな視点から見つめ直し、未来へつないでいく取り組み「東北スタンダード」。八戸市内に本社がある株式会社金入により2013年にスタートし、全国各地で注目を集めています。

はっち1階のカネイリミュージアムショップは、その活動の原点です。店に並ぶ東北6県の工芸品は、伝統的な価値と現代的なデザインとの融合によって新たな魅力を放っています。

7月には東京に進出した東北スタンダード。八戸発の活動が、東北の美意識と精神を全国に伝えています。ご注目ください。



左から 南部鉄器 鉄瓶(岩手)、山形鍔物 ペーパーウェイト(山形) 会津張り子 願い玉(福島)、オリジナル八幡馬(青森・八戸)



左: 仙台染め工房なとりや てぬぐい(宮城) 右: 東北スタンダード オリジナルピンバッジ



カネイリミュージアムショップ店舗風景

### 東京・ソラマチに出店 東北スタンダードマーケット

東北で生まれた食品、工芸品、日用品、デザイングッズなどを厳選して、東北の歴史や文化を発信していくショップです。

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2  
東京スカイツリータウン・ソラマチ 4階  
電話 03-6284-1706 営業時間 10:00～21:00

### カネイリミュージアムショップ(八戸ポータルミュージアム はっち1階)

電話 0178-20-9661 / FAX 0178-20-9662  
営業時間 10:00～19:00 定休日…毎月第2火曜日、12月31日、1月1日

### カネイリミュージアムショップ6(仙台) 電話 022-714-3033

〒980-0821 宮城県青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク1階 営業時間 10:00～20:00

### カネイリスタンダードストア(盛岡) 電話 019-613-3556

〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44 フェザンテラス1階 営業時間 10:00～20:30

東北 STANDARD ウェブサイト <http://tohoku-standard.jp/>